



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)大阪市平野区西脇 物販店舗新築工事	
建設地	平野区西脇2丁目	
建築用途	物品販売業を営む店舗、自動車車庫、自転車駐輪場	
建築主		
設計者		
敷地面積	3,500.97 m ²	
建築面積	2,530.15 m ²	
延床面積	4,777.18 m ²	
構造/階数	S造 / 地上2階	
完了年(予定)	令和6年10月	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

B-
BEE=0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆ 100%: ★★ 100%超: ★

標準計算

項目	建設	修繕・更新・解体	運用	オンサイト	オフサイト
①参照値	100%				
②建築物の取組み	83%				
③上記+②以外の	83%				
④上記+	83%				

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 **有**

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質
Qのスコア= 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

項目	スコア
音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	3.0
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

項目	スコア
機能性	2.8
耐用性・信頼性	2.8
対応性・更新性	3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

項目	スコア
生物環境	1.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	2.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア= 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

項目	スコア
建物外皮の熱負荷	4.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.9
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

項目	スコア
水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	3.0
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.2

項目	スコア
地球温暖化への配慮	3.6
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 建物については建築・設備共に将来の更新性に配慮した計画とした。また、敷地内には緑地を設け、周辺環境に配慮した。		その他 特になし。
Q1 室内環境 使用材料は基本F☆☆☆☆を採用している。	Q2 サービス性能 平均階高: 4.97m、壁長さ比率=0.11とする事で空間のゆとりを確保する共に将来への更新性に配慮した。 また、給排水配管については耐久性の高い材料を採用、通信配線には空配管を設置し、更新性に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周囲に緑地を配置し、周辺環境に配慮した。
LR1 エネルギー 省エネ性能を上げる為に外壁はALCを採用し、断熱性能を高めるように計画した。	LR2 資源・マテリアル 内装の下地にはLGSを採用し、部材の再利用に配慮した。 また、衛生器具は節水型器具等を採用し、水資源確保に配慮した。	LR3 敷地外環境 駐車場、駐輪場を十分に確保すると共に搬入車との動線を分け、利便性に配慮した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.8

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.6
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0 BPI _m =0.90
配慮事項	外壁はALCを採用し、断熱性能を高めるように計画した。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.9 BEI _m =0.84
配慮事項	特になし	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEI_mが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEI_mが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	- (相当)	0.90
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]
	0.82	-
		非住宅部分[BEI][BEI _m]
		0.82